

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

~~~~~  
令和 7 年 9 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 207 回）のご案内

軟弱地盤研究会  
会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 10 月 17 日（金） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：液状化対策としてのサンドコンパクションパイル工法の概要と締固め改良効果に関する知見

講演者：（株）不動テトラ 大阪支店 地盤研究室 江副 哲 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

我が国における代表的な液状化対策でもあるサンドコンパクションパイル（SCP）工法の改良効果については、過去の地震による実証事例でその有効性が数多く確認され、これまでに様々な報告がなされている。

砂質土に対する SCP 工法は、砂杭の圧入により周辺地盤の密度を増加させて液状化に対する抵抗性を高めるが、その改良地盤は締固めによる密度増加以外にも複合的な特性が関与することで、改良地盤全体の液状化抵抗が杭間 N 値から求めた液状化抵抗以上の強度を有している。

本講演では、SCP 工法概要と密度増加以外の締固め改良効果に関する知見について概説するとともに最近の研究事例について紹介する。

※参加希望の方は 10/10（金）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

=====  
軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 （公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603  
=====